

中小企業景況調査報告書

令和3年 7 ~ 9 月期 実績
令和3年 10 ~ 12 月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和3年 10 月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和3年7~9月期を対象とし、調査時点は令和3年9月1日とした。
令和3年10~12月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・薩摩川内市・さつま町・始良市・湧水町・霧島市
志布志市・大崎町・かのや市・肝付町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 207 業
製造業：40 企業 建設業：30 企業 小売業：60 企業 サービス業：77 企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
2年 7 月 ~ 9 月 期	 ▲62.5	 ▲24.1	 ▲55.4	 ▲62.6
2年 10 月 ~ 12 月 期	 ▲46.4	 ▲25.0	 ▲51.7	 ▲58.0
3年 1 月 ~ 3 月 期	 ▲46.4	 3.5	 ▲44.9	 ▲59.7
3年 4 月 ~ 6 月 期	 ▲20.9	 ▲10.4	 ▲28.3	 ▲37.7
3年 7 月 ~ 9 月 期	 ▲18.9	 ▲13.3	 ▲38.3	 ▲39.0
来期見通し(10~12月期)	 ▲9.7	 ▲17.2	 ▲40.0	 ▲33.8

総合(業況)

前年同期(令和2年7月~9月期)と比較した今期(令和3年7月~9月期)の業況は、製造業▲18.9(前年同期比43.6ポイント改善)、建設業▲13.3(前年同期比10.8ポイント改善)、小売業▲38.3(前年同期比17.1ポイント改善)、サービス業▲39.0(前年同期比23.6ポイント改善)となった。今期については、新型コロナウイルス感染の第5波が到来し、まん延防止等重点措置区域の飲食店等の時短要請が8月中旬から始まり、順次9月末まで重点措置地域以外についても要請がなされた。前年同期の緊急事態宣言時と比較すると、感染防止対策の影響もあり大幅な改善となった。また前期(令和3年4月~6月期)と比較すると、製造業2.0ポイント改善となったものの、建設業2.9ポイント・小売業10.0ポイント・サービス業1.3ポイント悪化となった。

なお、来期(令和3年10月~12月期)の見通し(DI)としては、今期と比較すると、製造業9.2ポイント・サービス業5.2ポイントとやや改善の見通しがあるものの、建設業3.9ポイント・小売業1.7ポイント悪化となる見通しである。まん延防止等重点措置が解除となったものの、第六波の不安も拭えず、野菜の高騰をはじめ、秋からの値上げラッシュに伴う仕入単価の上昇、最低賃金の上昇もあり、中小・小規模事業者にとっては、まだまだ厳しい状況が続くと思われる。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 40 企業

調査対象企業内訳：食料品 (20)，飲料・飼料・たばこ (3)，一般機械器具 (3)，家具・装備品 (2)，木材・木製品 (2)，プラスチック製品 (1)，印刷・同関連 (3)，金属製品 (2) 窯業・土石製品 (1)，その他 (3)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年7月～9月期		▲70.0		▲62.5		▲30.0		▲62.5
2年10月～12月期		▲60.9		▲47.5		▲26.8		▲46.4
3年1月～3月期		▲51.1		▲40.0		▲32.5		▲46.4
3年4月～6月期		▲20.9		▲27.9		▲26.2		▲20.9
3年7月～9月期		▲17.5		▲26.3		▲22.5		▲18.9
来期見通し(10～12月期)		▲12.5		▲20.5		▲17.5		▲9.7

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・コロナ禍で観光関連業への出荷が減少したままで、自社 EC 販売は、数量は増えたが単価は下がっている。
(食酢製造業)
- ・最低賃金の上昇など、コロナ禍の中、生産性と人材育成を鍛えて効率を上げていくしかない。(めん類製造業)
- ・コロナの影響だと思うが、受注工事が激減している事と請負工事の金額が厳しくなり、赤字の結果となり、鋼材も不足し、単価も上昇しつつある。
(鉄骨製造業)

経営上の問題点

第1位 需要の停滞	32.3%	(前期比 -5.9)
第2位 原材料価格の上昇	19.4%	(前期比 +7.6)
第3位 生産設備の不足・老朽化	12.9%	(前期比 -4.7)

【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業 (23)，職別工事業 (5)，設備工事業 (2)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
2年7月～9月期		▲3.5		▲31.0		3.4		▲24.1
2年10月～12月期		▲18.5		▲25.0		7.4		▲25.0
3年1月～3月期		3.5		3.5		6.9		3.5
3年4月～6月期		10.0		▲3.4		3.4		▲10.4
3年7月～9月期		▲30.0		▲20.0		▲16.7		▲13.3
来期見通し(10～12月期)		▲20.0		▲16.7		▲20.0		▲17.2

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・建築資材などの仕入単価の上昇により新築等の受注が減少し、特に来年度に大きく影響を受けると思う。
(建築工事業)
- ・注文依頼の極端な減少はないが、材料仕入単価等急激に上がっている現状。ウッドショックにより見積りがかなり厳しく感じられる。
(木造建築工事業)
- ・前年に比べると元請工事が増えた。また、民間工事も増え、従業員不足は感じるが、効率化は上っている。
来期も未消化工事が多い事から好転すると見込まれる。
(一般土木建築工事業)

経営上の問題点

第1位 従業員の確保難	27.3%	(前期比 +7.3)
第2位 材料価格の上昇	13.6%	(前期比 +3.6)
第3位 熟練技術者の確保難	13.6%	(前期比 -11.4)

【小売業】 有効回答数 60 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(23)，各種商品(6)，織物・衣服・身の回り品(7)，家具・建具(5)
その他(19)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年7月～9月期	☂	▲66.1	☂	▲49.1	☂	▲39.6	☂	▲55.4
2年10月～12月期	☂	▲57.6	☂	▲44.1	☂	▲31.0	☂	▲51.7
3年1月～3月期	☂	▲57.6	☂	▲48.3	☂	▲41.6	☂	▲44.9
3年4月～6月期	☂	▲25.0	☂	▲25.0	☂	▲21.6	☂	▲28.3
3年7月～9月期	☂	▲44.0	☂	▲38.4	☂	▲22.8	☂	▲38.3
来期見通し(10～12月期)	☂	▲49.1	☂	▲40.0	☂	▲30.5	☂	▲40.0

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・コロナ禍による得意先の営業自粛による納品の減少。ネット通販による来店客の減少。(衣類小売業)
- ・コロナによりイベントが減り、葬祭業など規模も小さくなり、1件あたりの価格が少なくなった。
(花・植木小売業)
- ・感染症拡大により外出自粛ムードの高まりから来店減少を感じる。化粧品は横ばいであるが、小物関係の売上が減少している。
(化粧品小売業)

経営上の問題点

第1位 需要の停滞	35.2% (前期比 +11.1)
第2位 大型店等の進出による競争の激化	13.0% (前期比 +5.6)
第3位 購買力の他地域への流出	11.1% (前期比 -7.4)

【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(21)，飲食店(22)，自動車整備業(12)，宿泊業(7)
運送業(2)，その他(13)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年7月～9月期	☂	▲73.1	☂	▲58.4	☂	▲46.1	☂	▲62.6
2年10月～12月期	☂	▲69.3	☂	▲55.1	☂	▲43.6	☂	▲58.0
3年1月～3月期	☂	▲71.9	☂	▲65.5	☂	▲49.9	☂	▲59.7
3年4月～6月期	☂	▲31.6	☂	▲33.8	☂	▲19.8	☂	▲37.7
3年7月～9月期	☂	▲30.2	☂	▲39.0	☂	▲26.3	☂	▲39.0
来期見通し(10～12月期)	☂	▲36.4	☂	▲34.2	☂	▲24.7	☂	▲33.8

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・今期は、県の時短要請等により大幅に営業時間が減少した為、これまでになく売上が減少している。
(食堂・レストラン)
- ・年間通して、イベント・旅行・祭りが少ないため、日常業務のプリントがほぼなく、お客様自体が少ない。人の動きも感じられず、この先みの状態が普通になっていくのではなかないかと心配。
(写真業)
- ・感染症に続き、大雨の影響で客数が大幅にダウンしている。かといって、大々的に広告を打って、何かをしようとするとうと感染が怖い。
(菓子小売業)

経営上の問題点

第1位 需要の停滞	30.3% (前期比 -0.1)
第2位 利用者ニーズの変化	12.1% (前期比 -0.9)
第3位 新規参入業者の増加	9.1% (前期比 +4.8)

全産業【鹿児島県】

2021年7月期～9月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	205	16.1	36.1	47.8	-31.7	206	9.7	47.6	42.7	-33.0
売上（加工）単価・客単価	174	8.6	58.6	32.8	-24.1	177	4.0	67.2	28.8	-24.9
売上（加工）数量	40	22.5	27.5	50.0	-27.5	40	22.5	40.0	37.5	-15.0
客数	59	8.5	32.2	59.3	-50.8	60	1.7	46.7	51.7	-50.0
利用客数	76	5.3	42.1	52.6	-47.4	77	1.3	53.2	45.5	-44.2
資金繰り	203	3.9	69.0	27.1	-23.2	206	3.4	68.9	27.7	-24.3
輸出額	15	0.0	86.7	13.3	-13.3	16	0.0	93.8	6.3	-6.3
受注（新規契約工事）額	30	16.7	40.0	43.3	-26.7	30	13.3	53.3	33.3	-20.0
原材料・商品等仕入れ単価	205	28.3	64.9	6.8	21.5	204	22.5	70.6	6.9	15.7
原材料在庫数量	40	5.0	75.0	20.0	-15.0	40	5.0	72.5	22.5	-17.5
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	60	13.3	46.7	40.0	-26.7	60	5.0	51.7	43.3	-38.3
商品・商品在庫数量	100	8.0	66.0	26.0	-18.0	100	3.0	68.0	29.0	-26.0
採算（経常利益）	205	4.4	57.6	38.0	-33.7	205	3.9	61.5	34.6	-30.7
従業員（含臨時・パート）	185	2.2	88.1	9.7	-7.6	184	3.8	76.6	6.5	-2.7
外部人材（請負・派遣）	129	3.1	87.6	9.3	-6.2	130	3.1	87.7	9.2	-6.2
設備操業率	38	5.3	68.4	26.3	-21.1	39	7.7	66.7	25.6	-17.9
引合い	68	8.8	67.6	23.5	-14.7					0.0
受注・契約残	66	4.5	77.3	18.2	-13.6					0.0
業況（自社）	204	5.9	56.9	37.3	-31.4	194	4.1	62.4	33.5	-29.4

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	203	17.2	33.5	49.3	-32.0					
売上（加工）単価・客単価	175	8.0	61.7	30.3	-22.3					
売上（加工）数量	39	20.5	35.9	43.6	-23.1					
客数	60	13.3	33.3	53.3	-40.0					
利用客数	76	7.9	35.5	56.6	-48.7					
資金繰り	202	5.0	66.3	28.7	-23.8					
業況（自社）	190	6.8	55.3	37.9	-31.1	196	6.1	62.2	31.6	-25.5
受取手形期間	37	0.0	100.0	0.0	0.0	36	0.0	100.0	0.0	0.0
長期資金借入り難度	173	2.9	90.8	6.4	-3.5	170	1.8	90.0	8.2	-6.5
短期資金借入難度（含手形割引）	152	2.6	92.1	5.3	-2.6	151	2.0	90.7	7.3	-5.3
借入金利	174	0.6	93.1	6.3	-5.7	169	1.2	94.7	4.1	-3.0

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	204	7.8	43.6	48.5	-40.7
生産に対する原材料在庫	40	0.0	92.5	7.5	-7.5
売上に対する製品在庫	100	10.0	84.0	6.0	4.0
採算（経常利益）	205	12.7	59.5	27.8	-15.1
引き合い	70	5.7	74.3	20.0	-14.3
生産設備	40	7.5	82.5	10.0	-2.5
従業員（含臨時・パート）	191	1.6	85.9	12.6	-11.0